**テゼの歌による黙想と祈りの集い**

**2013年10月16日　午後７時～8時半**

**於：日本ルーテル教団　大宮シオンルーテル教会**

* 祈りの順序は以下の通りで、間に歌をはさみながら進められます。
* 短い歌が繰り返し歌われます。心を合わせ、祈りつつ歌いましょう。
* 途中に長い沈黙の時があります。主の語りかけに耳をすませましょう。

・詩篇交読　　＜詩篇42編１～９＞

・聖書朗読　　＜イザヤ書　55章１～７＞

・テゼからの提言 朗読

・沈黙

・共同の祈り

・主の祈り

　　天におられる私たちの父よ

　　み名が聖とされますように　み国が来ますように

　　みこころが天に行われるとおり　地にも行われますように。

　　わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。

　　わたしたちの罪をおゆるしください。わたしたちも人をゆるします。

　　わたしたちを誘惑に陥らせず　悪からお救いください。

　　国と力と栄光は、永遠にあなたのものです。

　　　　主の祈りの後もしばらく歌が続きますが、いつお帰りになっても結構です。

　　　　最後の歌の後も、礼拝堂では沈黙を大切にいたしましょう。

＊大宮シオンルーテル教会では毎月第３水曜日の午後７時より

「テゼの歌による黙想と祈りの集い」を持っています。

来月は11月20日です。

楽器や歌でお手伝い下さる方大歓迎です。6時ごろから練習や準備をしています。

＊また集いに先だち11月6日(水)に、テゼの歌の練習をしますのでご自由にご参加下さい。

**♪　予定されている歌の歌詞　♪　　2013年　10月16日**

1　イェス内なる光　闇にとどまることなく、イェスあなたの愛を迎えられるように （す24）

2　慰めの霊　愛の炎　慰めの霊　愛の

Esprit consolateur, amour de tout amour.Esprit consolateur, amour de tout amour.

エスプリ　コンソラテール　アモル　デ　トゥル タモール・・

3　アレルヤ　アレルヤ　アレルヤ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（す６７）

＊　詩篇朗読　　（アレルヤ　と交互に）

4　 涸れた谷に鹿が水を求めるように　神よ神よ　わたしの魂はあなたを求める　（う５２）

* 聖書朗読

5　主のみ言葉は　闇を照らす光。主よ　主よ　わたしの闇を　主よ　主よ　照らしてください。

　　　< C’es toi ma lampe >

6 キリストは生きている、わたしたちの内に　キリストは生きている　あなたの内に

　　土の器の中に宝として　土の器の中に光として　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（う２６）

* テゼからの提言2013年より　　朗読

7 　 Veni Sancte Spritus　（ ベニ　サンクテ　スピリトゥス）　　　　　　　　　　　　　　（す１０）

　　　　　　（　ラテン語：聖霊、来て下さい）

* 沈黙

8　ともに主をたたえん　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（す４　）

　　＜　Adoramus te　O Christe　＞

9　あわれみたまえ主よ　　（共同の祈りと交互に）　　　　　　　　　　　　　　　 （す53）

* 共同の祈り

10　主は聞かれる我らの声を 主こそわが歌 歌え　声上げ　＜Bendigo al Señor＞

11　天におられるわたしたち父よ　（主の祈り）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(う77　)

12　 ①マニフィカ　マニフィカ　②マニィカタニマ　メア　ドミヌム

③マニフィカ　マニフィカ　④マニィカタニマ　メア　　　　　　　輪唱　　 （す　13 ）

　 Magnificat magnificat, magnificatanima mea Dominum. 　〈わたしの魂よ　主をあがめよ〉

13　いつくしみ　愛の　あるところ　神ともに

Ubi caritas et amor, ubi caritas Deus ibi est.　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（す　２８ ）

14　待ちのぞめ　主の日を　心を主にむけ　　＜Wait for the Lord ＞　　　　　　（す11 ）

15一粒の麦が地に落ちて死ねば　多くの実を結ぶ　命の実を結ぶ　　　　　　　　　（う40）

16 いつくしみと愛のあるところ神ともにUbi caritas et amor, ubi caritas Deus ibi est.　　　（す３）

　　（ウビ　カリタス　エタモール　ウビ　カリタス　デウス　イビ　エスト）

　　　　す-　歌集「すべての人よ主をたたえよ」　 う-　歌集「うたえ暗闇にとどまることのないように」